

現代沖縄における野営炉址の調査（補遺）

山崎真治

A research of modern encampment hearths in Okinawa (Supplement)

Shinji YAMASAKI

沖縄県立博物館・美術館，博物館紀要 第12号別刷

2019年3月29日

Reprinted from the

Bulletin of the Museum, Okinawa Prefectural Museum and Art Museum, No.12

March, 2019

現代沖縄における野営炉址の調査 (補遺)

山崎真治¹⁾

A research of modern encampment hearths in Okinawa (Supplement)

Shinji YAMASAKI

概要

筆者は、先史時代の炉址とそれを利用した人類活動を解釈するための基礎作業として、現代の沖縄の海浜部に見られる野営炉址の調査を行い、その成果について報告したことがある (山崎2018)。概要は以下の通りである。

調査地は沖縄島北部東海岸の2地区 (U地区、I地区) で、特定の範囲内に残された炉址について、形態、平面規模、炉址内外に残された物品について調査し、一部については炉内部の断面調査も実施した。調査は2015年1月と2017年3月の2度、のべ2日にわたって実施した。調査に要した時間は各地点とも1~2時間程度であった。調査にあたっては、特定の範囲の地表面で観察できる炉址について悉皆的調査を試みたが、特に2017年3月の調査ではU地区、I地区ともに残された炉址の数が非常に多く、完全な調査には至らなかった。

図1には調査を実施した炉址の分布図、表1・2には炉址のリストを示す。

調査の結果、U地区の炉址には強固な構造をもち、反復的な利用をうかがわせるものが多く見られ、逆にI地区の炉址には一度きりの便宜的な使用に供されたと考えられるものも多く見られた。こうした差異は、両地区の炉址を残した個人あるいは集団の炉をめぐるとの行動様式や、炉の構築や扱いに関する文化的背景が異なっていたことを示唆していると考えられた。

先の報告では、紙幅の関係から個別の炉址の情報については一覧表として提示したのみで、個々の炉址を図示することができなかった。しかし、今後こうした調査研究を進める上で、基礎データの提示は必要不可欠と思われるので、本稿では先稿の内容を補うための補遺として、個別の炉址の写真を提示しておくことにしたい (写真図版1~6)。

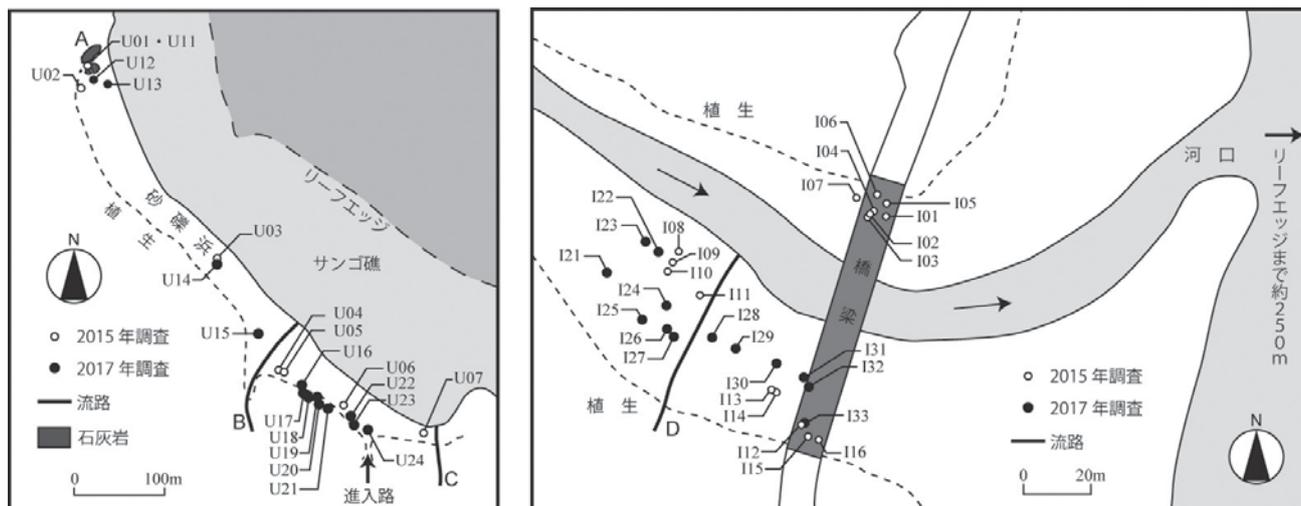


図1 炉址分布図 (左: U地区、右: I地区)

¹⁾ 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
Okinawa Prefectural Museum & Art Museum, 3-1-1, Omoromachi, Naha, Okinawa, 900-0006 Japan

表1 U地区炉址リスト

番号	調査年月日	分類	開口部・焚口	長径 (cm)	短径 (cm)	断面調査	掘込	底石	炉に伴う物品	廃棄物	備考
U01	201501	石積囲炉	南西	140	130	実施	あり	あり	腰掛用の礫 バケツ 火掻き棒 薪		開口部閉塞型
U02	20150115	石囲炉	南西	125	100	実施	不明	なし	石材集積 薪		
U03	20150115	石積囲炉	南南東?	100	80	実施	なし?	なし		骨	
U04	20150115	石積囲炉	北北西	150	128	実施	なし	なし		吸殻、缶、ペット ボトル、骨片、タ マネギ皮	開口部閉塞型
U05	20150115	石囲炉	南~東?	245	230	実施	なし?	なし		大型獣大腿骨	
U06	20150115	石積囲炉	南?	90	90	実施	あり	なし			北側に屏風状立石あり
U07	20150115	石積囲炉	南?	100	90	未実施	不明	不明	腰掛用の礫 薪		北側に屏風状立石あり
U11	20170320	石積囲炉		110	110	実施	なし	なし	石材集積 棒・ポリタンク 浮玉2 サンダル1足分		
U12	20170320	石積囲炉	北	160	120	実施	あり	なし		針金 骨片	開口部閉塞型
U13	20170320	石囲炉		250	230	実施	あり	なし		鉄片 (ガス缶?)	南側に小礫集積あり
U14	20170320	地床炉		330	240	実施	なし?	なし			
U15	20170320	石積囲炉		180	170	実施	あり	なし	石材集積 壊れたモリ先 近隣にドラム缶、 コンクリートブロッ ク22個、配礫あり	ビンのふた・ガラ ス片・アルミ缶・ 金網	
U16	20170320	石積囲炉		95	80	未実施	不明	不明			
U17	20170320	石囲炉	南西	95	80	未実施	不明	不明			北東側に屏風状立石あり
U18	20170320	石積囲炉	東?	130	120	未実施	不明	不明		骨・卵殻	
U19	20170320	石積囲炉		180	150	未実施	不明	不明			取り壊し
U20	20170320	石積囲炉		100	100	未実施	不明	不明		ペットボトル	
U21	20170320	石積囲炉		135	110	未実施	不明	不明			取り壊し
U22	20170320	散礫		110	95	未実施	不明	不明			取り壊し
U23	20170320	石積囲炉		110	100	未実施	不明	不明			取り壊し
U24	20170320	石積囲炉		120	100	未実施	不明	不明	薪・ロープ	ビニール・缶・ ペットボトル	

※「分類」の項については表3参照

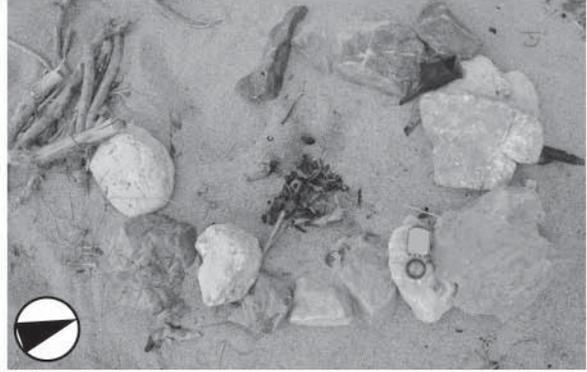
表2 I地区炉址リスト

番号	調査年月日	分類	開口部・焚口	長径 (cm)	短径 (cm)	断面調査	掘込	底石	炉に伴う物品	廃棄物	備考
I01	20150115	散礫		90	95	未実施	不明	不明			
I02	20150115	石積囲炉	北北西	110	110	未実施	不明	不明			
I03	20150115	地床炉		40	25	未実施	不明	不明			
I04	20150115	地床炉		45	40	未実施	不明	不明			
I05	20150115	地床炉		50	45	未実施	不明	不明			
I06	20150115	地床炉		60	45	未実施	不明	不明			
I07	20150115	地床炉		190	135	未実施	不明	不明			
I08	20150115	石積囲炉	南	90	90	実施	なし	あり			北側に屏風状立石あり
I09	20150115	散礫		100	80	未実施	不明	不明			
I10	20150115	石囲炉		90	70	実施	なし	なし			
I11	20150115	石囲炉	南	85	80	実施	なし	あり		トウモロコシの芯	
I12	20150115	石積囲炉		110	110	未実施	不明	あり?		紙ゴミ	
I13	20150115	石積囲炉	西	50	45	未実施	不明	不明		缶	
I14	20150115	石積囲炉		120	120	未実施	不明	不明	ビールケース(腰掛用)		
I15	20150115	石積囲炉		70	60	未実施	不明	不明			
I16	20150115	石積囲炉		70	65	未実施	不明	不明			
I21	20170320	散礫		70	60	実施	あり	あり			
I22	20170320	石囲炉	北西?	135	135	実施	あり	あり		銀紙	南東側に屏風状立石あり
I23	20170320	散礫		90	60	未実施	あり?	あり?			
I24	20170320	散礫		90	70	実施	あり	なし			
I25	20170320	石積囲炉		80	60	実施	なし?	あり			
I26	20170320	石囲炉		70	60	実施	あり	なし			
I27	20170320	石囲炉	西	60	50	実施	あり?	あり	腰掛用の礫		
I28	20170320	散礫		140	95	未実施	不明	不明			
I29	20170320	散礫		120	100	未実施	不明	不明			
I30	20170320	散礫		140	100	実施	あり	なし			
I31	20170320	散礫		120	120	未実施	不明	不明			
I32	20170320	散礫		130	110	未実施	不明	不明			
I33	20170320	石積囲炉	南	120	95	実施	あり	なし	火掻き棒 近隣に配礫あり	竹	取り壊し

※「分類」の項については表3参照



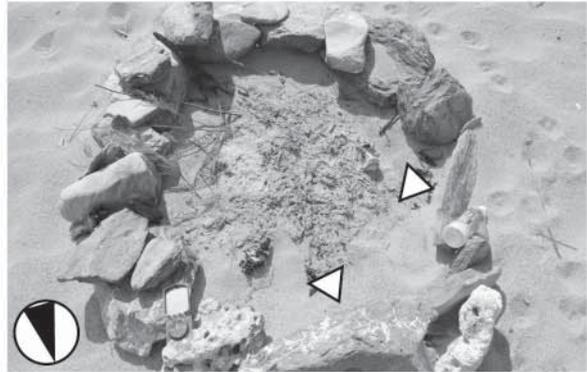
U01
開口部閉塞型。図中の△は閉塞部の平石。



U02
写真左上に薪（未使用）が残されている。



U03



U04
開口部閉塞型。図中の△は閉塞部の平石。



U05
超大型の炉址。写真奥に大腿骨が見える。



U06



U07



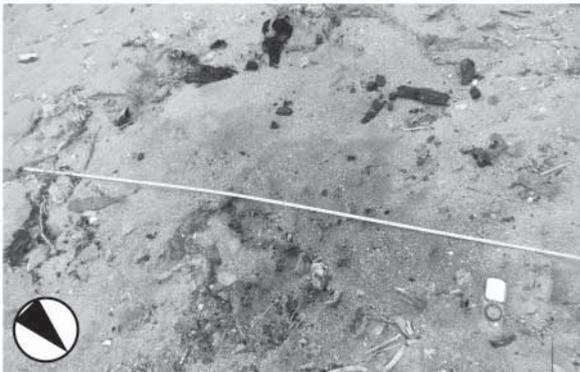
U11
自然の岩塊を利用した炉址。



U12
開口部閉塞型。図中の△は閉塞部の平石。



U13
超大型の炉址。



U14
超大型の炉址。大型の炭化材が周縁に分布する。



U15
二重の石列がみられる炉址。写真右下に銚先。



U16



U17
屏風状立石（写真下側）を伴う炉址。



U18
二重の石列がみられる炉址。



U19
取り壊された炉址。



U20



U21



U22



U23



U24



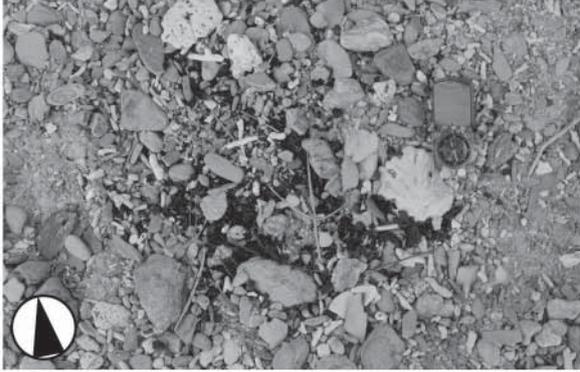
I01



I02



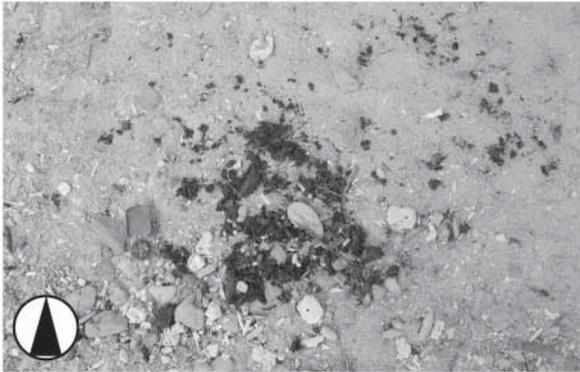
I03



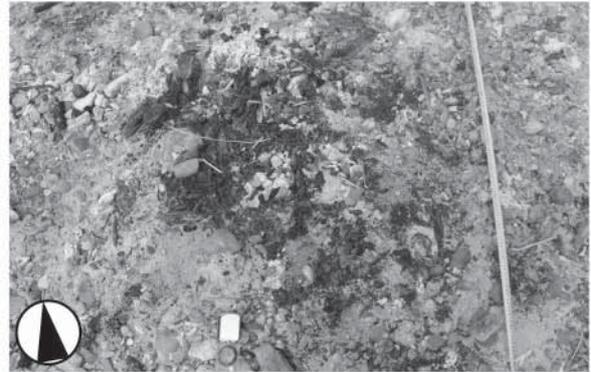
104



105



106



107



108

被熱によってサンゴ石が破碎している。



109

被熱によってサンゴ石が破碎している。



110



111



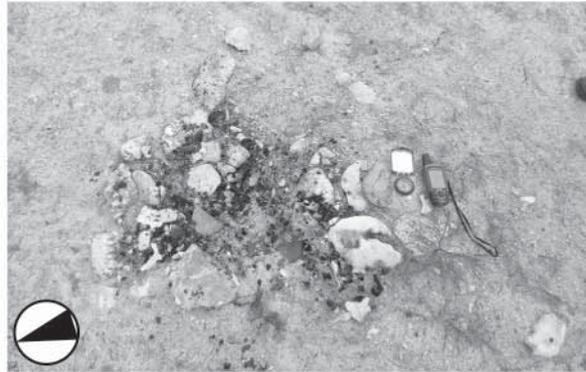
I13・I14
大小2基が近接しており、同時使用と考えられる。



I21
被熱によってサンゴ石が破碎している。



I22
屏風状の立石を伴う炉址。



I23



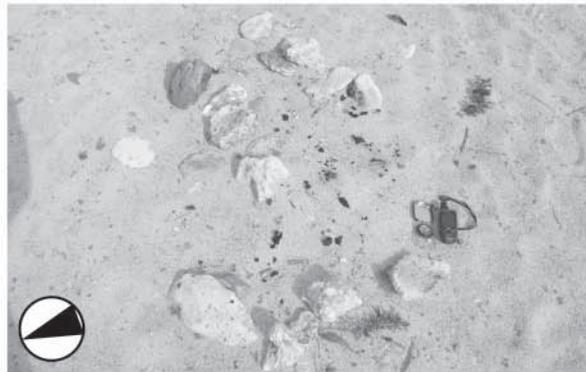
I24



I26



I27



I28



129



130

被熱によりサンゴ石が破碎している。



132



133

取り壊された炉址。写真右側に火掻き棒。

写真図版6

参考文献

山崎真治 2018 「現代沖縄における野営炉址の調査—炉址研究の参照枠充実に向けた基礎作業—」
『考古学研究』65(2)